

## 令和4年度第3回徳山高等学校学校運営協議会 記録

I 日 時 令和5年2月1日(水)午後3時から午後5時00分まで

II 場 所 徳山高等学校会議室

III 出席者

### ○学校運営協議会委員

本校全日制委員3名 定時制委員1名 徳山北分校委員2名 鹿野分校委員2名 校長 副校長

### ○学校関係者

本校定時制教頭 徳山北分校教頭 鹿野分校教頭 事務長 CS活動推進員

### ○その他

統括的なCS活動推進員

## IV 会議概要

### 1 全体会

#### (1) 徳山高校の今後について

- ・県立高校将来構想による再編整備と徳山高校の関わりについて

令和4年度末 徳山北分校・鹿野分校の閉校

令和6年度末 光高校定時制閉校により周南地区の定時制は本校と下松工業高校のみに

令和7年度 本校全日制 学科改編

#### (2) 校内校旗保持委員会の取り組み

- ・綱紀保持に関わる研修等の実施報告

#### (3) 質疑応答

委員：新しくできる「特進探究科」は現在の理数科の文科系版ができるという理解でいいか？

学校：理数科は特に探究的な学びにも多くの時間をあてながら進学でも成果を上げているが、文系でもそういった探究的な学びを重視した学科を置くということである。

委員：募集については理数科のような形で募集するのか？

学校：学科名も含め、まだ決まっていない。

委員：理数科にはSSHのように専門的な力をつけるものがあるが、文系にもこういうことができるということは、子どもたちの選択肢の幅も広がるし、深く学べるということで、いいことだと思う。

委員：中学校においても、今後具体的な募集についての発表があるのを注視している。STEAM教育が言われているように、理数系だけではなくくれない部分があり、もっと多角的に力を伸ばしていこうというような時代にあるので、私としては肯定的に捉えている。

学校：新学科は、今の中学一年生から対象になるので、遅くとも1年前には学校から説明ができる状態にしたい。学科については県教育委員会がきめることなので、現状ではまだ学校として説明できる部分はない。

委員：徳山高等学校がより魅力的になるということなので、中学校としては大歓迎である。地元中学校からの進学先としていい改革ではないかととらえている。いい人材を育ててほしい。

委員：今の関係で確認だが、理数科、探究科、普通科と3つの科になるということか。

学校：普通科は今まで通り。理数科と新しい文系の学科を総称して「特進探究科」ということになる。

委員：理数科は40名だが、特進探究科は40名+40名ということになるのか。

学校：定員や募集定員については未定である。今後、地域の状況を見ながら今後検討されていくことになる。

## 2 部会別協議

- ・本校全日制・定時制・徳山北分校・鹿野分校の部会毎に学校評価について意見交換を実施